

標準寒天培地（1ml 添加用）

マイクロバイオ株式会社

1. 特徴

通常の表面塗抹用培地は検体 0.1ml 添加用ですが、この標準寒天培地は検出確率が 10 倍の検体 1ml 添加を可能にした培地です。一般生菌を迅速に発育させ、また混釈法に比べ操作時における培地からの熱ストレス（約 50℃）による死滅が無いのでさらに試験精度が高くなります。

2. 概要

標準寒天培地は、衛生上の指標として好気的で中温性の総細菌数（一般生菌数）を把握するのに用いられます。発育して来るコロニー数が多い場合は衛生上の取り扱いが悪かった事が予想され、又食中毒の病原菌などの多くが好気的な中温菌である事から検体中に危害微生物が含まれる確率が高い事が示唆されます。食品衛生法においては、大多数の食品について食品分野別に一般細菌数の上限の規格が定められています。

3. 培地の保管方法

培地は、常温の暗所で保管して下さい。

4. 試験成績書

以下のページは、培地性能の参考資料です。各ロットには、このような試験成績書が添付されます。

試験成績書

製品番号 SDM002

製品名 標準寒天培地

製造番号 A240C

使用期限 2022年3月26日



マイクロバイオ株式会社

品質管理部

＜性状試験＞

試験項目	規格	判定
外 観	淡黄色な培地 異物、気泡を認めない	適合
pH	6.8±0.2	適合
分注量	水平に凝固、厚薄が無い	適合
無菌試験	菌の発育を認めない (25±2℃ 7日間)	適合

＜培養試験＞

試験菌株		接種菌数	培養温度	培養時間	判定
<i>Escherichia coli</i>	NBRC 3972	100CFU 以下	35℃	36時間	接種菌の出現集落数は、標準化された菌液の計測値の1/2～2倍以内。有効性が確認された培地パッチで以前に得られた発育と同等の発育を認める。
<i>Staphylococcus aureus</i>	NBRC 13276	100CFU 以下	35℃	36時間	
<i>Bacillus subtilis</i>	NBRC 3134	100CFU 以下	35℃	36時間	
<i>Candida albicans</i>	NBRC 1594	100CFU 以下	35℃	36時間	
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	NBRC 13275	100CFU 以下	35℃	36時間	

＜合否判定＞

総合判定日	2022年 1月31日	総合判定	適合
-------	-------------	------	----

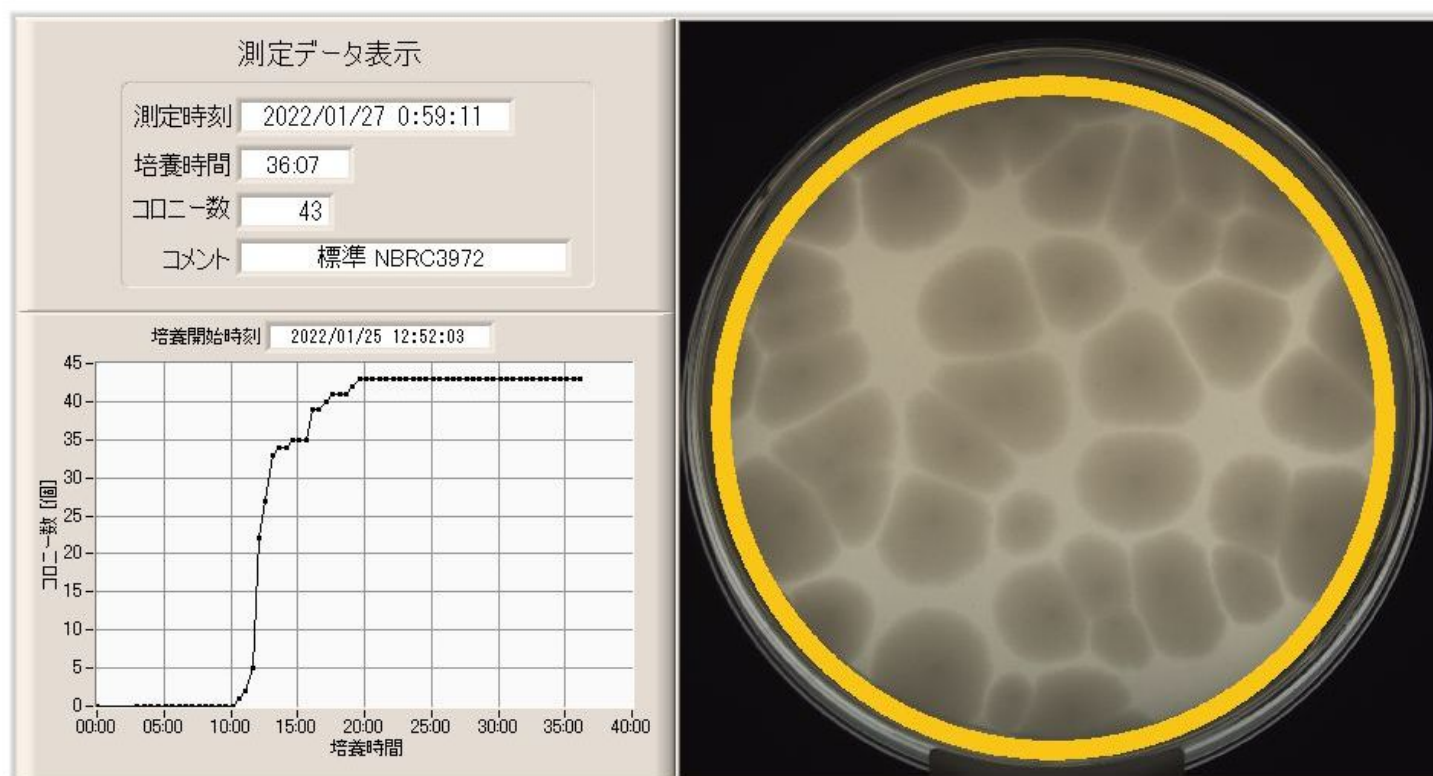


図1. 標準菌株 *Escherichia coli* NBRC 3972 の発育画像

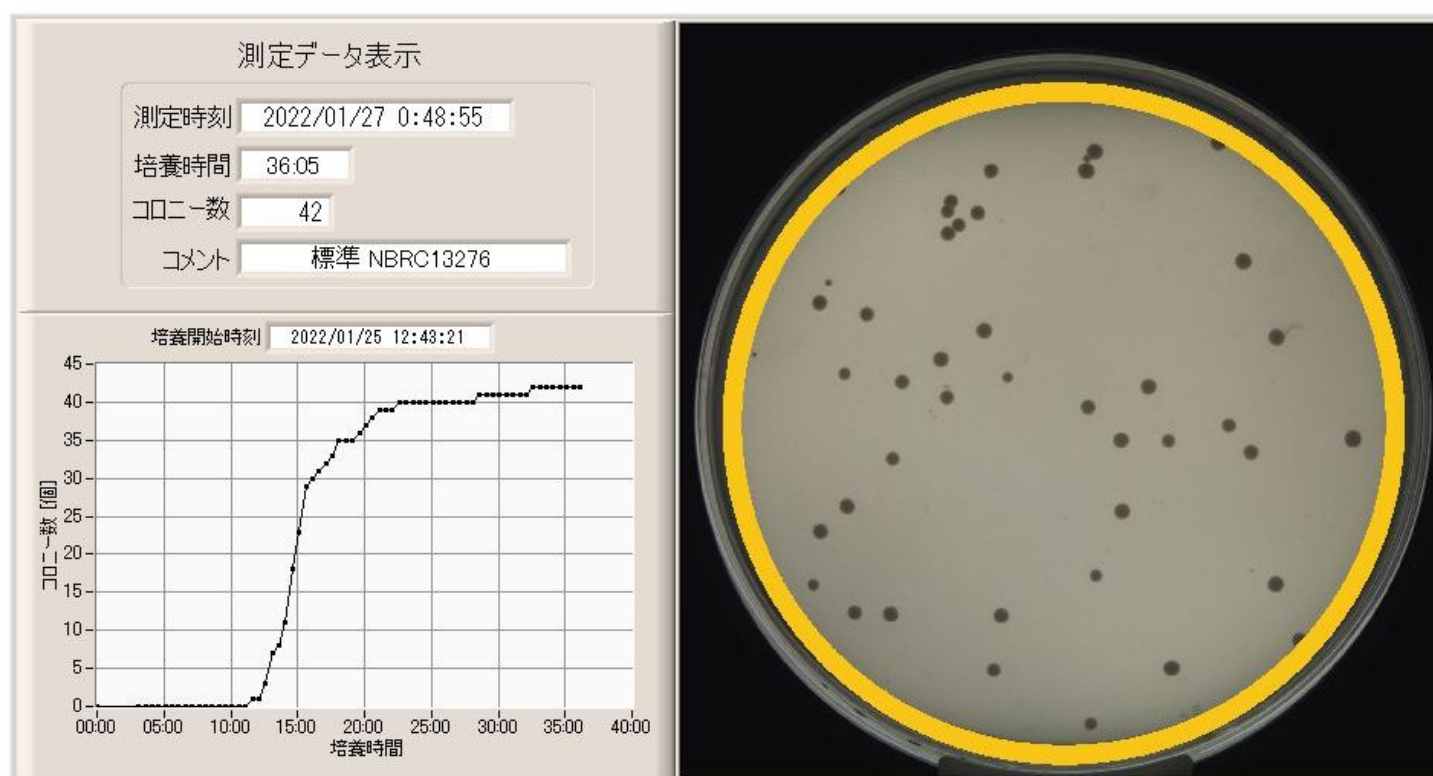


図2. 標準菌株 *Staphylococcus aureus* NBRC 13276 の発育画像

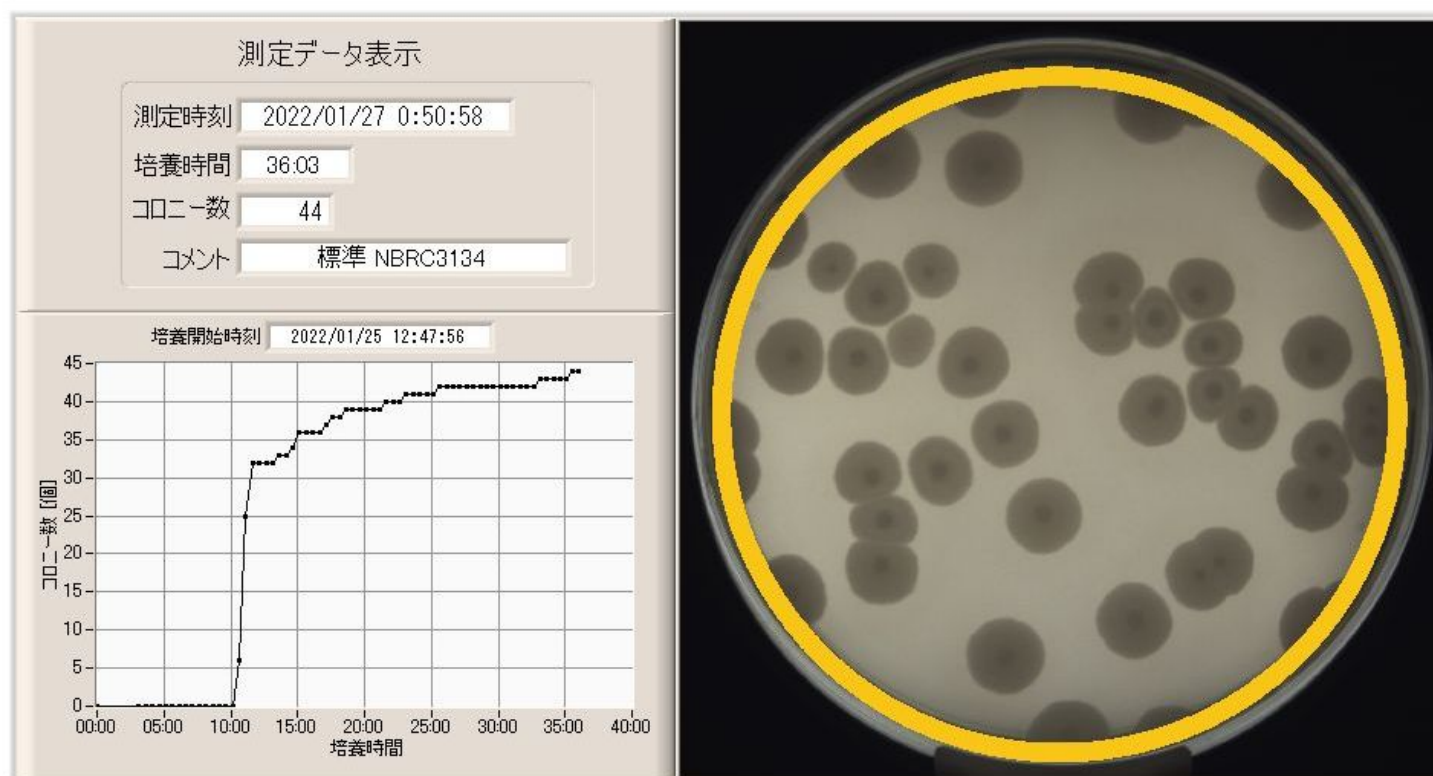


図3. 標準菌株 *Bacillus subtilis* NBRC 3134 の発育画像

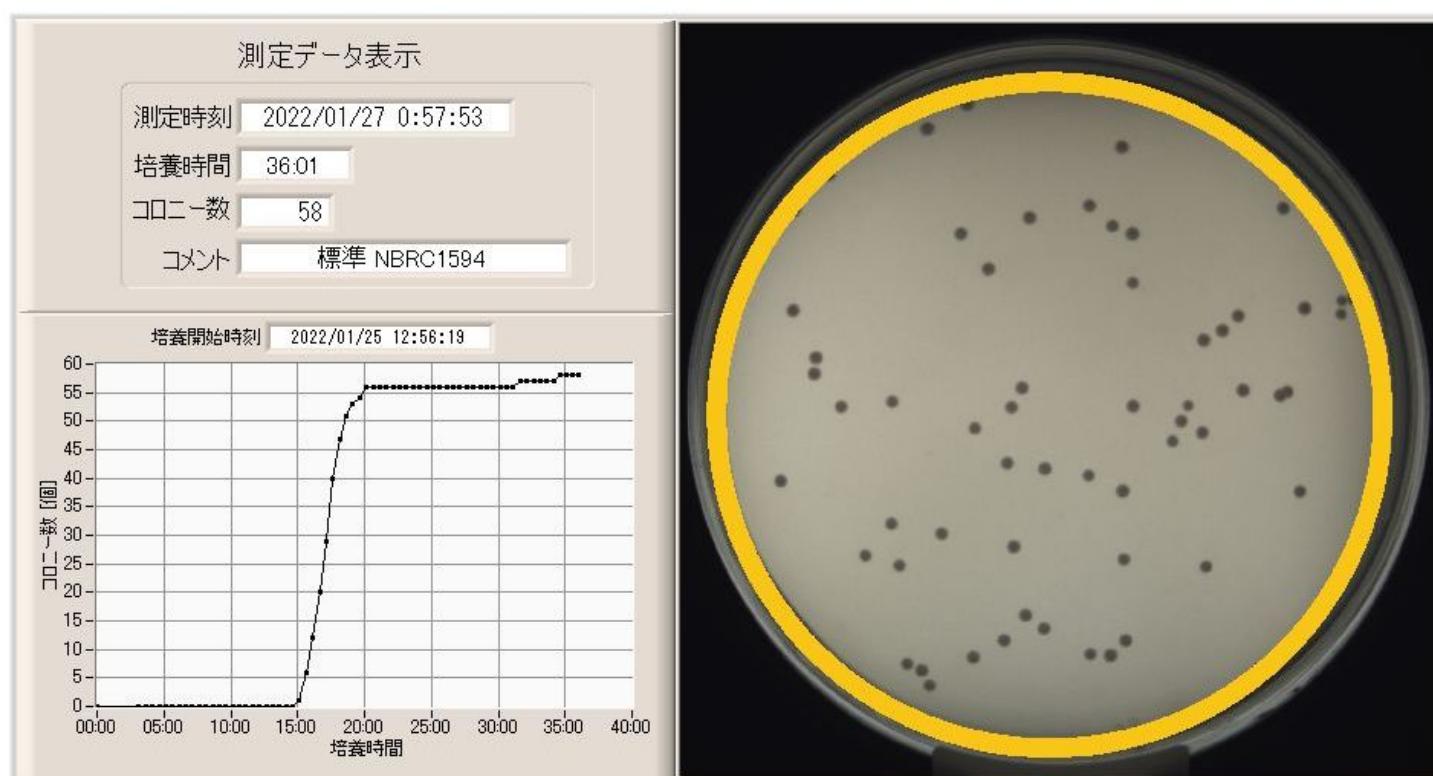


図4. 標準菌株 *Candida albicans* NBRC 1594 の発育画像

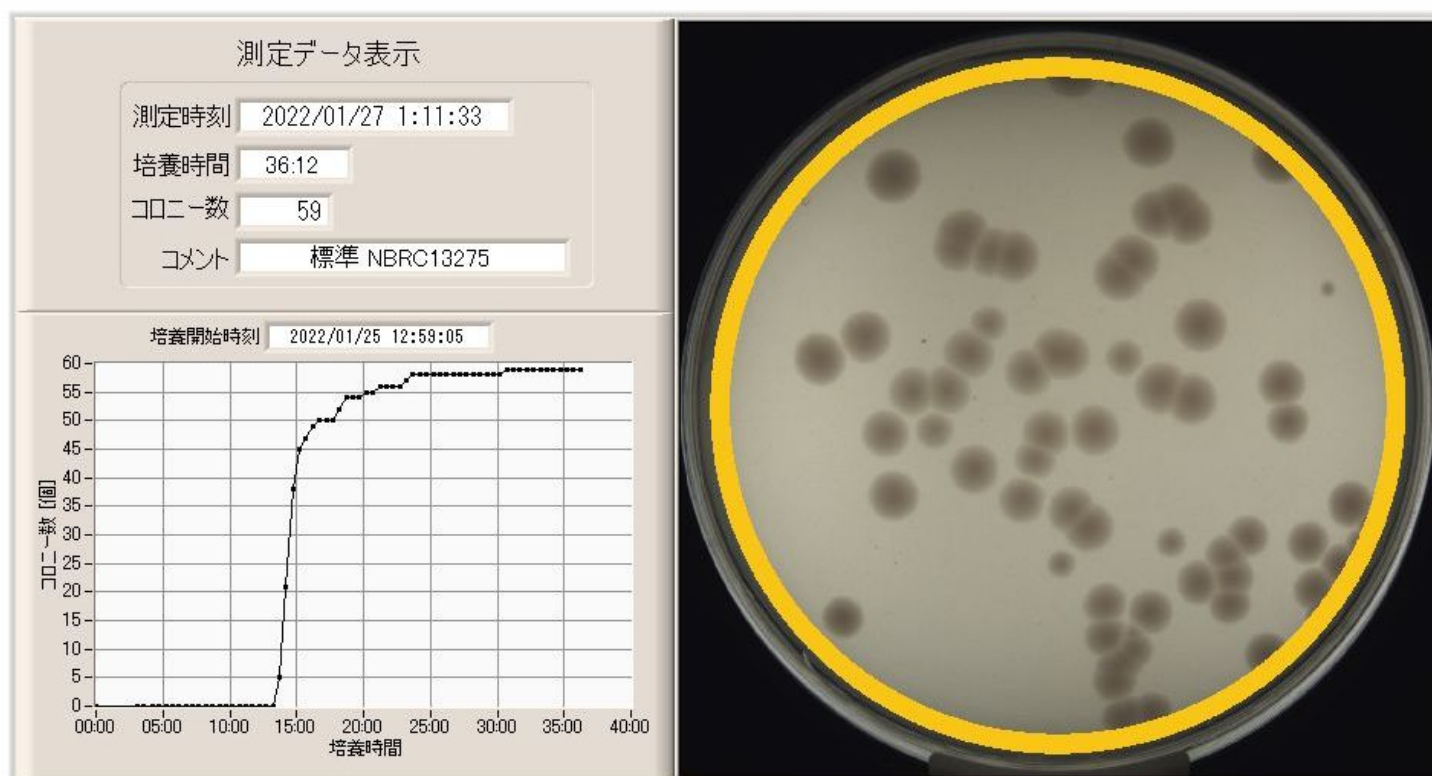


図5. 標準菌株 *Pseudomonas aeruginosa* NBRC 13275 の発育画像